

NPO法人めぐみ

日野市

平成30年1月調査

1 活動の目的

都市農業を守り振興させるため、農家と行政と市民が一体となって交流・協働する機会を支援していく架け橋となる。安全安心な農作物の生産・流通・消費を循環させる仕組みを構築し、又多目的な機能を持つ都市周辺の農地・里山を保全・活用する。身近にあるかけがえのない自然環境に係わる機会・関心を増すことにより、次世代を担う子供達に健全な環境を継承し、共生する豊かなまちづくりに寄与することを目的とする。

2 活動が始まったきっかけ

もともとサラリーマンだった理事長が日野を歩き回っているうちに町に恩返ししたいと思うようになり、「日野・農業」でネット検索し、日野市の農の学校に入学しました。その後、農家の話を聞くうちに、日野の農業の現状として、農家は農産物が余るなど野菜の無駄がある一方、市民はどこで日野産野菜が手に入るのかわかりたいと活動を開始しました。市に相談したところ、個人では市も援助しにくいことから、NPO法人として活動することにしました。

3 会員資格

特になし

4 会員の募集方法

サポート会員はHPで随時募集。

※活動には会員でなくとも参加できます。

5 入会金・年会費等の有無

一般会員 入会金3,000円、年会費3,000円

団体会員 入会金10,000円、年会費30,000円

※初年度の年会費は入会した月により、異なります。

6 会員数

20名

7 会員の特徴

年代：若年者がいない。

男女構成：半々くらい。

目的(楽しみ)：日々の小さな活動・消費行動が身の回りの都市農業や環境等を保全することになり、

これまで暮らしてきた地域の中で知らないことが沢山あることへの驚きが楽しみとなっております。

8 行政等からの支援の有無

- 日野市 都市農業振興課

9 活動概要

(1) 農産物等の生産、流通、消費を支援協働する事業

- 日野市立七ツ塚ファーマーズセンター施設管理を日野市より受託、施設内に「農あるまち日野みのり處」で農産物を販売。(毎日農家を回って農産物を買っている。)日野産野菜を使ったランチの提供。
- 市役所・各種イベント等での野菜販売も行っている。
- 飲食店・菓子製造業(和菓子・洋菓子)へ、地元農産物情報を提供し、新メニュー・新商品製造に取り組んでいただいている。(B品活用含む)

(2) 市民と農業生産者の交流を図る事業

- 宅地化農地の活用(特定農地貸付法による市民農園開園・NPOメンバーによる巡回指導)
- 地元農家による農作物作付け講習会
- 料理教室など、地元農家、他団体と協同開催
- 市民・学生などの農業視察。
- 他団体と共催し、食のイベントや農業体験等の実施。

(3) 農地・里山の保全と活用を図る事業

- 日野市百草の里山保全(伐採・くずはき等)等
- ファーマーズセンター周辺の生産緑地で作業受託。
市民や企業にも農作業に参加していただき、農業体験を実施。

(4) 農業に関わる市場調査や情報を収集する事業

10 現在、運営・活動で大変に感じる事、困っていることなど

- 実際に長時間かかわれ活動できる人が少ない。
- 地元農産物を使った新商品などを開発したいが、資金面で困難。

11 今後の方向性

外食したり買い物をする時、地元農産物を取り扱っているお店を選ぶことだけで、将来の子供達へ素晴らしい環境という財産を残していることを伝えていきたい。

堅苦しい理念を語るのではなく、何気ない日々の市民のちょっとした選択や行動がめぐりめぐって身の周りの環境を保全していることを気づかせる活動を広げたい。

12 事務局もしくは会員からひとことメッセージ

遠方や海外へ観光に行かなくとも、身近な所にもまだまだ沢山見知らぬ楽しいことがあります。

地元NPO等の団体が掛け橋となりますので、気軽に農業体験等のイベントへ参加して

地域とのつながりを深めていただければ幸いです。